

れる島の星山(江津市島
の登山道再整備で、2
完成が危ぶまれている。
能力開発短期大学の学
、市民の協力を得ながら
段を一段ずつ積み上げて
を卒業。後を受ける協力
に陥る。(村上栄太郎)

江津

に願
てほしい。市民手作りだか
からこそ愛着と誇りを持てる
整備
はずだ」と訴える。

星高
中腹
から
00
積み
と想
23年
完成
が抜
で作
は鈍
内全
知と
成果
会の
1日
カシ

令和5年5月2日(火)
山陰中央新報

授業
3月、4月
工業高校3
「長く
を重。
な限り
込む。

授業
3月、4月
工業高校3
「長く
を重。
な限り
込む。



実証運行が始まる六日市地域循環線の車両にシールを貼る岩本一巳町長(右)と村上智孝社長(左)と島根県吉賀町六日市、町役場

部・
バス
日か
あれ
可能
機関
する
る。

田の月山の山頂で4月29
日、樹齢400年とされる
力エアの古木2本の保護活
動があった。樹勢が弱る原
因となった根元の土が減っ
た木の周辺に約30人が中腹
から運んだ真砂土をまき、
後世につなぐ思いを新たに
した。

地元食材使い昼食会



カレーの出来栄を確認する白鷺光泰社長(中央)と社員一島根県川本町川本、新興建設コンサル

地域の食材を使った料理
を社員が手作りして味わう

川本の企業 消費拡大狙う

800人の利用を見込む。
実証運行はおよそ1年
で、利用者の声を取り入れ
て改善し、本格運行に移行
する。

1日、町役場であった記
者発表で、岩本一巳町長は
「公共交通は町のにぎわい
創出や交流の活性化を担
う。実証運行を一つの起爆
剤として利用環境を整備し
ていく」とした。六日市交
通の村上智孝社長(47)は
「新しい公共交通の循環線
を、少しでも多くの方に利
用していただきたい」と期
待した。

予約は同社、電話085
6(77)0073。
(藤本ちあき)

高齢者交通事故防止
モデル地区に久利町

民有志が、2005年に始
めた活動。引き継いだ出雲
広瀬ライオンズクラブ(L
C、石倉刻夷会長)が呼び
かけ、市内外から参加者が
あった。

2本のうち1本は枯れた
枝もあるが、保護活動を
始める前と比べ、勢いを取
り戻している。同LCの
中村義英さん(73)は「月
山にはいろんな魅力があ
り、紅葉もきれいだ。生か
して先々まで残したい」と
話した。

昼食会が1日、島根県川本
町川本の新興建設コンサル

この日、エプロン姿の白
鷺社長たちは会議室でタマ
ネギやジャガイモ、ニンジ
ン、牛肉を3時間煮込み、
ルーを加えて仕上げた。食
べた社員からは「うまい」
との声が上がった。
今後も調理担当者を変え
ながら継続する考えで、白
鷺社長は「地元食材にこだ
わった。昼食会で社員のコ
ミュニケーションも深まる
といい」と話した。

森山護会長(81)は「地域の
問題として真剣に受け止め
たい」と決意表明した。
大田署の吾郷弘章署長が
久利まちづくりセンターで
町老人クラブ寿会の福田幸
司会長(77)に指定書を交
付。人口約1300人の4
割近くが65歳以上と高齢化
が進む中、講習会を開くな
どし事故防止の機運をつく
る。特殊詐欺被害防止にも
取り組む。(曾田元気)

業務局長ら。内部協議。鼎三國際企
業有限公司の林定三氏面会(ウエ
ブ。内部協議。

市長の一日

【島根】

△松江▽ 終日、内部協議。
△浜田▽ 午前、浜田地区広域
行政組合辞令交付式。内部協議。
午後、同。
△出雲▽ 終日、公務なし。
△益田▽ 午前、益田・鹿足地
区ミーティング。内部協議。午後、同。
岩本一巳吉賀町長。松ヶ丘病院で

集団インフル

【学級閉鎖】
△4日まで▽益田・益田小学校
◇おことわり 29日付23面
「春の叙戦」の島根県期系り

はなふさの

まとめてご相談ください!

新畳・畳表替え・ふすま・障子・網戸

内装工事お任せを!

4代目 2代目